

経営課題を解決

IRC

情報
提供人材
育成経営
支援

(IRC会員募集中)

会員の方は各種サービスをご利用できます



「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」を目指して
いよざん地域経済研究センター

エレベーターメーカーより安くなるのはサービス品質に差があるから?

コストダウンには品質は関係ありません!
本体コストの差によるもので安全性は変わりません!

創業45年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアム
PREMIUM
Direct benefit

プレミアムなかつお節といえば「プレミアム」です。

TEL 7999-3192 愛媛県伊予市米湊1696番地 HP <https://www.marutomoto.co.jp>週刊
1973年創刊阿ることなく・恐れることなく
愛媛経済レポート

2025年(令和7年)10月13日号 第2465号

ウインテック

ピロー包装機用の自動継ぎ装置

＝センサーで検知し自動でフィルムをつなぐ、省力化へ＝



顧客が使用するフィルムの幅や直径に合わせて機械を設計する

必要な作業は、装置の2カ所にフィルムを貼り合わせる。フィルムをセットし、センサーで検知し自動でフィルムをつなぐ。省力化が図れる。

価格は350万円程度。受注生産で商社を通じて販売を行う。県内の食品やアミニティの製造会社などに提案しており、既に導入実績がある。「当社のこれまで培ってきた技術を生かし完成した」(同)とし、先日行われた展示会でも好評だった。

同社は1979年創業、81年設立。FA機器の設計製造を手掛ける。顧客の課題に合わせて設計から加工、サポートまで一貫して行うのが特長。主力製品の蛇行修正機は、紙おむつなどの生産ラインに導入されており、国内で高いシェアを誇るという。

「Easy Splice」は、ピロー包装機に特化した自動継ぎ装置。包装資材のフィルムを半自動でつなぎ合わせるができる。

ピロー包装機に対応するコンパクトで低コストの機械が欲しいという顧客の声があったことを踏まえ開発を決めた。同社がピロー包装機専用の自動継ぎ装置を手掛けたのは初めて。

めのテープを準備しておくだけ。片方のフィルムがなくなると、センサーが反応し、もう片方のフィルムと自動でつなぎ合わせる、切り替わる。貼り合わせる際は、フィルムの目印であるレジマークを自動で検知し、正確な位置で貼り合わせることが可能。貼り方は突き合わせ貼り、「フィルム」のロスがなく、段差なども生じない(同社)とする。会社によっては、1日に数十回もフィルムの貼り合わせ作業が必要な場合があるという。同社は「手作業だと1回の貼り合わせ作業に3分くらい掛かるが、Easy Splicerを使えばその手間をなくせる」(同)としている。操作の安全面にも考慮した。

食品やアミニティ会社に

ウインテック(株)(東温市松瀬川、駄場元定生社長)は、ピロー包装機に特化した自動継ぎ装置を開発した。装置の2カ所にフィルムの原反を設置しておく、センサーが反応し自動で貼り合わせが可能。従来は手作業で行っていたフィルムの貼り合わせ作業を自動で行うことができ、省力化が図れる。県内の食品製造会社などに提案している。

家づくり何でも相談会実施中
モデルホーム見学、土地探し承ります!

Amami Home

株式会社アミホーム 一級建築士事務所

千senは今治市の中心部、末広町にあるスナック。8年前にオープンした。元は別の人が経営する店だった。千草さんはPTAの仲間と一緒にお客として来ていたが、仲良くなったママから店を継いでほしいと頼まれ、引き受けた。波方町出身の千草さん。オープンしてしばらくの間、お客さんは地元の友だちばかりだったが、友だちが友だちを連れてく



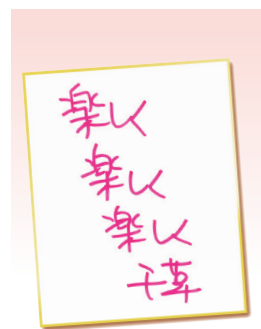
千sen
店主 汐澤 千草さん



所在地: 今治市末広町1-6-1
コスモ1stビル3F
電話: 090-4504-9758
営業時間: 20時半～24時
定休日: 日・月・祝
料金: 1時間4千円から。カラオケは無料。

る形で常連客が増えていった。「コロナの時も昔からの友だちにとっても助けてもらった。本当にありがたく思います」。店を経営する上での信条は

「まず自分が楽しむこと。そうでなければお客様は楽しめない」と千草さん。お酒はほとんど飲めないけれど、酔ったお客さんに負けないくらい陽気になれるという。



健康・美容関係の昼の仕事は今も続けている。昨年、愛媛県中小企業家同友会に入会した例会後は会員の皆さんが大勢で店に来てくれるそうだ。

新居浜太鼓祭り 探訪 ラベルの日本酒

近藤酒造(株)(新居浜市新須賀町、近藤嘉郎社長)は、太鼓祭りをモチーフにしたラベルデザインの日本酒を発売した。代表銘柄である「華姫桜」のうち「本醸造」(上撰)と「昇竜」(佳撰)の2種類。



新居浜の地酒ということを見ただけでなく分かる商品が必要と考えていた。新居浜といえば太鼓祭りだ。日本酒は神事と深い関わりがあり、祭りとも親和性が高いビールメーカーが企画する祭りは全国各地で人気があるという。

デザインは、ソネデザインスタジオの曾根輝夫さんに依頼。曾根さんは愛媛のグラフィックデザイン業界の草分け的存在。自作のイラストを使ったロゴやパッケージを手掛ける。祭り好きで太鼓台を題材にした作品は400点に上る。ラベルには太鼓台の重に飾られている布団締め(フタ)の龍を採用。阿龍と呼龍が力強く描かれている。中央には二つ巴をあしらった。二つ巴は水の神様を象徴する紋様だ。曾根さんは「日本酒造りには水が大切で、五穀豊穡にも水が不可欠。水は自然の恵であり、自然に畏敬の念を表す儀式が祭りの由来だということ传达了」とする。2商品は昔から祭りの際に良く飲まれるもの。「祭りの時期以外にもラベルを見て、昔話を花を咲かせてほしい」と近藤社長は話した。価格は本醸造が1・8リットル入り2200円、昇竜が同1500円。

社長の★Birthday

大本勝巳さん(有)大本造船、昭和40年10月6日
永井豊彦さん(ワールドパックス(株)、昭和46年10月6日
尾崎裕さん(株)CONCENT、昭和58年10月7日
三好洋史さん(株)HR、昭和59年10月7日
天野光敬さん(株)マツビシ、昭和55年10月8日
木村匡さん(木村商事(株)、昭和40年10月9日
片山大輔さん(北四国商事(株)、昭和51年10月9日
土井明人さん(株)アサヒジム、昭和50年10月10日
笹田雄太さん(株)まなひめ、平成2年10月11日
中村曉彦さん(佐川醸造(株)、昭和61年10月12日